

こころの救急箱 通信 創刊号



発行:特定非営利活動法人 こころの救急箱 2011年8月
 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-17 708号
 事務局:電話・FAX:06-6942-9092
 URL:<http://www1a.biglobe.ne.jp/cocorono9090baco/index.html>
 メールアドレス:cocorono9090baco@kpa.biglobe.ne.jp
 相談電話:06-6942-9090(月曜日夜8時~火曜日朝3時)

こころの救急箱通信創刊号によせて

理事長 北浦 萬里子

14人の立ち上げメンバーの熱い思いと、それを支えて応援して頂いた多くの方々に感謝致します。よちよち歩きの『こころの救急箱』を、周り多くの方々に支えて頂き、お力を貸して頂いての研修と活動の1年6ヵ月でした。


平成23年4月にはNPO法人として認証され、一周年記念講演会ワークショップも大阪府、大阪市、堺市のご後援を頂き、ドーンセンターにて東京自殺防止センター創設者西原由記子氏を講師に多くの参加者に恵まれ『受容と傾聴』のWSを開講でき、メンバー一同充実感を味わい今後の活動の励みとなりました。

活動の原点は、ここ10年毎年3万人を超える自殺者、孤立、無縁社会、孤独死が社会現象となり、そのうえ民間市民活動はボランティア不足と報道されています。私たちシニアでも経験を生かしてまだお役にたつのではと研修に集まったのが立ち上げのきっかけとなりました。昨年8月に相談電話開設、毎月曜日午後8時~翌朝3時まで電話を受けて1周年を迎え、少しずつ環境も整いつつあり、相談活動人数も増し今後の活動の大きな力となることと思います。

3月11日に東日本大震災が起き、今までは考えた事もない大きな災害が起きてしまいました。今後の日本に命題を突き付けられた問題として、私たちは受け止めなければならない事です。被災者にとっては永い永い心の戦いが続くことだと思えます。

私達こころの救急箱も5月11日より、NPO法人自殺対策支援センターライフリンクによる共同プロジェクト(東日本大震災による『死別・離別の悲しみ相談ダイヤル』)にも毎日曜日、東北3県より(岩手、宮城、福島)転送されてくる電話を受け、現地の深刻な声を傾聴しています(3ヶ月間の受信全件数:215件)。まだ小さなボランティア団体ですが、しっかりと一歩一歩確実に研修を重ね、“受容・傾聴”の出来るこころの救急箱になりたいと願っています。今後とも益々のご支援賜りますようお願い申し上げます。





活動日誌

- 2009.12 立ち上げメンバーの研修開始
- 2010.03-05 神戸市及びNPO法人コアセンターコスモスに協力して、「多重債務者、自死遺族のための自殺対策緊急 110 番」に参加
- 2010.08 電話相談開始
- 2010.09 大阪市こころの健康総合センター等の自殺予防キャンペーンに参加
- 2010.10 ラジオ関西「60才からの元気神戸」で紹介
- 2010.12 設立総会開催
- 2011.01 毎日新聞に活動と立ち上げの動機等掲載(23日)
- 2011.01 第1期養成講座オープン説明会開催
- 2011.02 第1期養成講座開講
- 2011.04 創立1周年 NPO認証記念講演会・ワークショップ開催(16日)
- 2011.05 特定非営利活動法人として発足(10日)
- 2011.05 NPO法人による共同プロジェクト東日本大震災による「死別・離別の悲しみ相談ダイヤル」開設に参加。東北3県(岩手、宮城、福島)からの相談電話を受ける。
- 2011.05 理事会、総会開催



..

1期生の声 2011年2月から研修を受けている方からの声をご紹介します。

○KTさん

研修が実践・体験学習なので、体が覚えているし(今でも)研修中もすごく楽しかったです。電話を受ける、話を聴く事は、本当に難しい事ですが、毎回勉強になります。スーパービジョンで自分の知らない部分を教えていただくことができるので、課題を見つけることができ、とても為になっています。

無理をしないで、地道に活動を続けて生きたい。自分のできることをできる範囲で、少しずつ経験をつんでいきたい。

○TTさん

人の話を聴くという一見単純に思えることが、いかに難しく、奥が深いものかということを実感しました。この研修を通じて、仲間の意見や考えを聞くことで本当に勉強になりました。

○YMさん

「相談者の気持ちを聴く」ことを徹底的に教わったように思います。自分の傾向にも気付かされ、言葉の裏にこめられた感情に焦点を当てる聴き方を学びました。

○TIさん

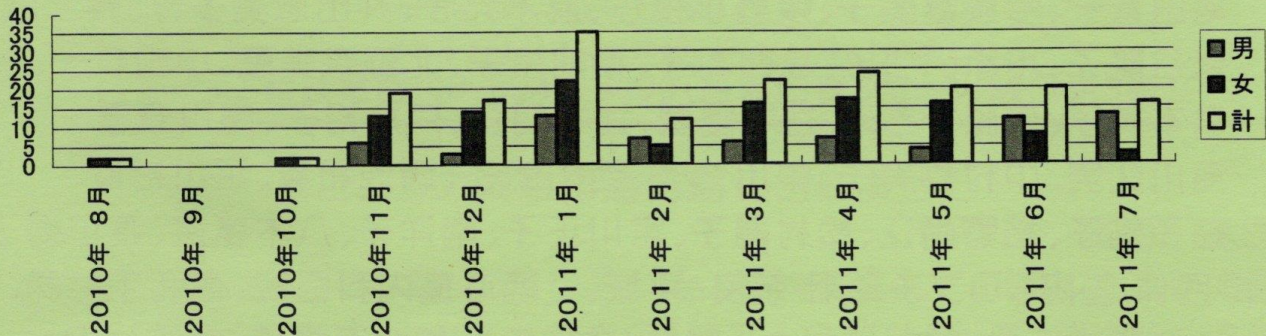
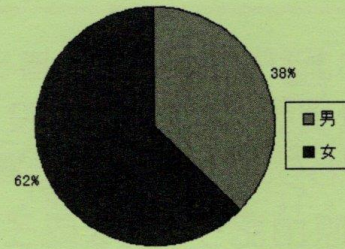
自分の心の気づきがわかりました。傾聴することの難しさを感じながら相手の気持ちに寄り添うことを学びました。

相談電話受信記録

期間:2010年8月から2011年7月

受信数

男	女	計
71	118	189

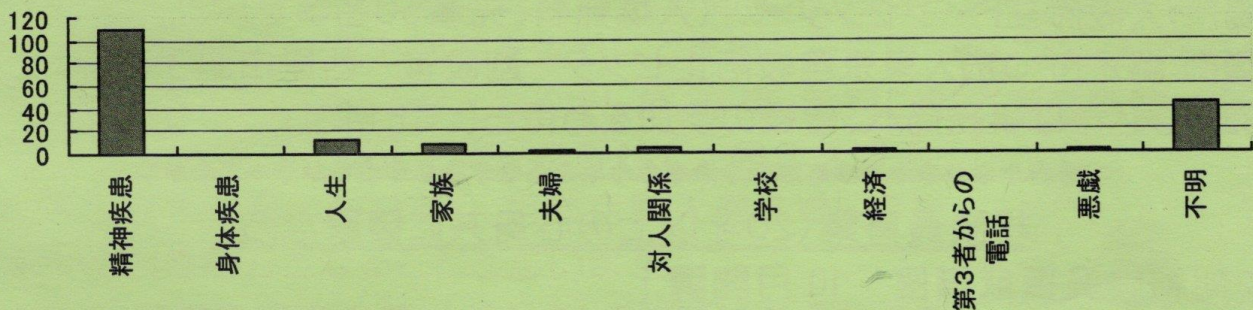


主訴分類

精神疾患	身体疾患	人生	家族	夫婦	対人関係	学校	経済	A	悪戯	不明
110	1	13	8	2	4	1	3	1	2	44
58.20%	0.53%	6.88%	4.23%	1.06%	2.12%	0.53%	1.59%	0.53%	1.06%	23.28%

(A : 第3者からの電話)

件数



会員の募集及び寄付のお願い

私達の活動は、皆様の善意によって支えられています。孤独や絶望、不安など心の悩みに苦しむ人々の訴えが多く寄せられ、この状況に答えるために、相談員の養成・研修、設備等の整備など資金が必要です。今後の活動維持の為なお一層の皆様のご理解とご支援を頂けますよう心よりお願い申し上げます。

正会員・賛助会員;1口 1,000円(何口でも可)、寄付も宜しく申し上げます。

※振込先 (銀行の振込手数料は、お申し込み者様でご負担ください)

郵便振替 □座番号 00990-6-312308

三井住友銀行 □座番号 6584448 玉造支店

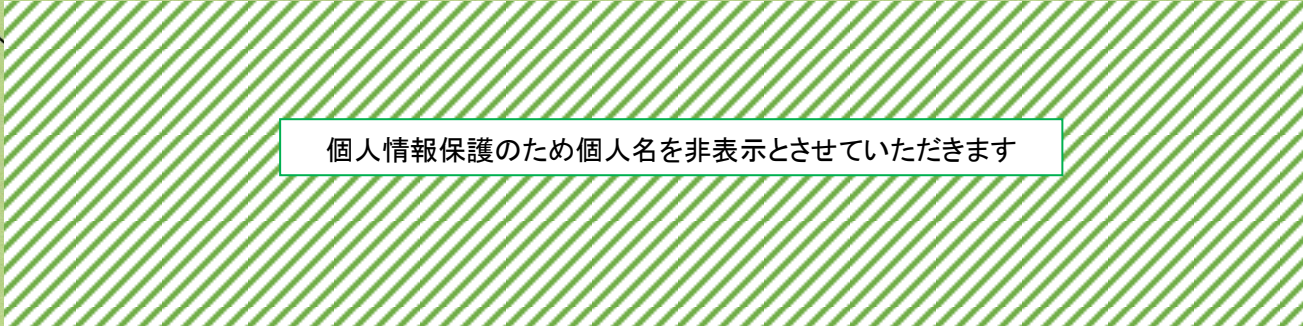
振込先 特定非営利活動法人こころの救急箱



賛助会員の皆様

個人および企業・団体の皆様の深いご理解と暖かいご支援に支えられ、立ち上げ及び運営資金として本当に役立たせていただきました。心よりお礼申し上げます。今後とも変わらぬ御理解、ご支援をお願い申し上げます。（順不同、敬称略）

個人



個人情報保護のため個人名を非表示とさせていただきます

企業・団体:国際ソロプチミスト奈良-平城、上西心療内科医院、信和工材(株)、心齋橋不動産(株)、ラポール開発(林敬三)、(株)北石材店、宮本税理士、物品寄贈:(株)岡田本社



東日本大震災被災者支援講演会 開催

演題:「大地の叫びに 人はつながる」

～あなたのところで、私のところで大きな奇跡を生み出そう!～

日時:2011年9月10日(土) 午後2時から4時

場所:大阪府立ドーンセンター (入場無料、先着50名まで)

講師:認定NPO法人東京自殺防止センター創設者 西原由記子氏

お申し込みは事務局へ、皆様の参加をお待ちしています。



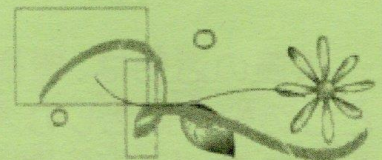
相談員募集(20才以上の心身共に健康な方)

第2期相談員養成講座 10月開講!

所定の手続きを経て研修を受け、実習の後、認定を受けて活動していただきます。詳しくは事務局へお問い合わせください。

事前説明会を9月25日(日)に開催します。

研修指導:東京自殺防止センター西原由記子氏、他皆様のご応募をお待ちしています。



情報

☆堺市自殺対策フォーラム 2011が 8月27日土曜日 13:30 開演

JR 鳳駅下車 堺市立西文化会館ウェスティで開催されます。

「自殺」に焦点を当てた日本初の演劇公演、インタビューで得た証言をもとに舞台化したドキュメンタリーシアターです。問い合わせ申し込み先は、堺市精神保健課まで。TEL 072-228-7062 締切 8月25日(木)まで